

文化会館建設工事順調に進む どん帳原画決定



昨年十月から工事を進めている市民文化会館は、現在建物本体工事を行っており、全体の六〇%を超えほぼ予定どおりの工程となっています。

また、大ホールのどん帳原画に長谷川善四郎画伯の「奥羽山脈」、中ホールのどん帳原画には内田慎蔵画伯の「杉林の太陽」と決定しました。

今後の工程は、どん帳の調製、電気、舞台音響、照明、客席工事などで、来年二月末の完成をめざして工事は今急ピッチで行われています。



長谷川画伯の「奥羽山脈」



内田画伯の「杉林の太陽」

市民文化会館は、昨年十月十八日に起工式を行い、鉄筋コンクリート造り四階建て、総工費二十四億三千二百八十五万五千円で着工しました。

建設工事は、昨年十二月まで基礎工事を完了し、今年雪解けと同時に建物本体工事に着手。現在は、大ホールの舞台上部の本体工事(中ホールの本体工事はほぼ完成)や空調調和、給排水、電気設備などの工事を行っており、九月月上旬には外観が完成します。

これからは舞台機構、音響、照明、客席などの内部工事が行われ来年二月末には文化の殿堂が完成、七月のこけら落しの行事でオープンします。

大ホールは「奥羽山脈」のどん帳
市民文化会館の大ホール、中ホールのどん帳の原画が決まりました。原画は、市出身の長谷川善四郎画伯と市内の内田慎蔵画伯に依頼していたもの。

両画伯の作品のなかから大ホールのどん帳には、長谷川画伯の「奥羽山脈」、中ホールには内田画伯の「杉林の太陽」を決定しました。今月中にどん帳の調製業者の選定を行って発注し完成は来年の二月になる予定です。

研修とくつろぎの場 働く婦人の家」を建設

八月十二日の議会臨時会で、「働く婦人の家」新築工事の請負契約議案が可決されました。働く婦人の家は、県内五番目の施設として建設されるもので二万人に及ぶ婦人労働者の方々に、仕事の余暇を利用して日常生活に必要な知識、技能を身に付け、さらには趣味やレクリエーションを通じて勤労婦人の福祉の増進と地位の向上を図ろうと建設するものです。

建物は、鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積八百六十六・五平方メートル、総工事費一億八百二十万円、施工業者は伊藤組となっています。

施設の概要は、一階が調理室、託児室、相談室、展示・談話室、図書コーナーなど、二階は講習室(和室・洋室)、軽運動室、茶室、学童学習室などで、五十七年三月に完成する予定となっています。



「ありがとう運動」

図画の部特選の

村尾卓也君(八歳)



「第三回ありがとう大館市民運動」(大館商工会議所主催)の一環として、市内小・城南小学校二年の村尾卓也君が、みごと特選を射止めました。全部で三十七点の応募がありましたが、卓也君の作品の子どもの素直さ、配列などが審査員の高い評価を得て選ばれたのです。

今回の受賞について「自分ではあまり上手とは思わなかったし、ほかの人の方がもつとまいと思つた」と、喜びの知らせにもまだピンとこない様子。しかし家では両親がやほり給が大好きとあって特選の知らせに大喜び。「早速、なにかお祝いをしたい」と、お母さん。「お父さんとキヤッチボールをするのが一番楽しい」という卓也君ですが、夏休み中はスポーツと、絵も何枚か描きたいと笑顔で話していました。



情報 国保

あなたの医療費は
どれくらいか ご存じですか?



いし、残り七割分は国民健康保険から支払いをしています。

国民健康保険はあなたの家計と同じです。病人が増え医療費が多くなれば、それだけ皆さんの国保税を出しあわなければなりません。あなたの家計を助けるように、あなたの健康管理が国保の財政を助けるのです。

市長の
お話し



No. 37

納涼の時ではありませんが残暑を可能な限り期待したいものです。

永久平和の誓い

三十六回目の終戦日の前日、多くのご遺族の方々とご来賓の臨席をいただき、戦没者慰霊祭が催されました。

理由はどうか、近代社会国家間で戦争に訴えることがあつてはなりません。私たちはあの尊い犠牲と経歴を忘れることなく、永遠の平和と不再戦を誓い、そのための最大努力をすることこそ、戦没者とご遺族に対する報恩であると思ひます。

ところで、その永久平和の誓いとは無関係に「自衛隊強化」「憲法改正論」「教科書国定化論」など歴史の繰り返しの思ひを動かす動きが、不安感を抱かざるを得ません。被害者であり加害者である戦争を、好む人は一人もいないと確信します。問題は「力の均衡こそ平和」と唱え、軍備力を食ひ物にしてながら、知らず知らずのうちに危険な道を歩んでいることです。

あらためて生活の中から平和を問い直し、行動しなければと考えます。

成人を祝す

成人となられた方々とご家族の皆様にご心からお祝い申し上げます。

社会的にその権利が保証されたことでありますから、その権利を堂々と行使していただき、その裏打ちとしての責任も果たしていただきたいと思ひます。

これまでは他人に頼ることも許されましたが、今後は違います。相談する、決断はあなただけにあり、その責任は義務づけられています。自分の言論と行動には大胆な中にも慎重であり、責任を負ってほしいと思ひます。

しかし素直にしたり、引込み思案になつてはなりません。みなさんの可能性は無限に開けています。この無限の可能性と未知への挑戦の芽をつみとることがあるとすれば、それこそ社会的損失になるでしょう。私たちが大人と親は、そのために発言することもありましょう。その点は認めて欲しいと思ひます。